

●自動車研究開発科

全日本学生フォーミュラ大会 結果報告

STUDY

9月5日(火)から9月9日(土)まで、自動車研究開発科2年生は静岡県エコパで開催された「全日本学生フォーミュラ大会」に出場しました。

雨の中スタートとなった車検では、1回で合格とはならず修正作業に追われましたが、懸命な修正の結果、無事車検をクリア。その後、静的審査(デザイン、プレゼンテーション、コスト)や動的審査(オートクロス、スキッドパッド、アクセルレーション)でのポイントを獲得し、最後のエンデュランスでは目標の一つでもあった完走をすることが出来ました。

総合成績としては43位(94校中)でしたが、コスト審査では歴代最高位の14位を獲得し、学生にとっては嬉しい結果もありました。

来年のアメリカ大会に向けて引き続き頑張りたい。

今年もたくさんの卒業生が応援に駆けつけてくれました。つながりが強いところが自動車研究開発科の魅力です。



ブレーキテストをクリア



大会前の最終チェック



懸命の修理作業



参加者全員で集合写真

EVENT

市内清掃ボランティアに参加

10月8日(日)、寮行事として「市内清掃ボランティア」に参加しました。このイベントは、地域住民の方々と一緒に参加する事で、交流を深め社会貢献の心と行動力を育む事を目的に実施しています。

当日は、好天に恵まれ、各班で清掃エリアを決め、地域住民の方々に元氣よく挨拶しながら清掃活動に取り組みました。寮周辺の住宅街から、日頃使用している通学路や国道沿いの歩道を中心に約1時間の活動で、軽トラック2台分のゴミを収集しました。綺麗になった周辺の街と地域住民の方々との交流で気持ちの良い汗を流した1日となりました。



隅々までゴミを拾い集める学生たち

EV同好会

Ene-1 GP 鈴鹿大会に出場

8月6日(日)、EV同好会は、三重県鈴鹿サーキットで開催された、「Ene-1 GP 鈴鹿大会」に出場しました。

この大会は、充電式単三乾電池40本だけを動力源として、アップダウンの激しい鈴鹿サーキットのコースを3周走行するという、エネルギーマネジメントとマシン剛性、ドライバーの運転テクニック等が要求される過酷なレースです。

今年のチームは、昨年からの課題を中心に、上級生と新入生が一丸となってマシンの熟成を図り、2台体制で臨みました。当日は、35℃を超える猛暑の中、順調に車検に合格し1stアタックが始まりました。しかし、鈴鹿名物の難所であるダンロップ坂で電気系トラブルが発生し完走出来ませんでした。その後、全員で1台のマシンを改修し、何とか2ndアタックにチャレンジし、見事完走をしました。チーム目標の「3周完走」は今年も達成出来ませんでした。残る下級生が「来年こそ3周完走」を誓って今年の挑戦は終わりました。



マシンと一緒に記念撮影



マシン、ドライバーともに高い技術が要求される過酷なレース

野球同好会

関西専門学校軟式野球大会に出場

8月21日(月)、野球同好会は大阪南港中央野球場で開催された「関西専門学校軟式野球大会」に出場しました。この大会は優勝すれば、岡山県で開催される「全国大会」へ出場する事が出来る為、年間の最重要大会としているものです。

1回戦の相手は強豪の大原簿記専門神戸校で、メンバーは夏休み返上で猛練習を重ねてこの試合に臨みました。Hondaは初回・2回と投手の立ち上がりは攻められて2点を先取される苦しい展開でしたが、中盤5回に主軸にタイムリーヒットが出て2-2の同点に迫りました。Hondaの投手も中盤以降は立ち直り、7回最終回まで両チーム共に決定打が無く、延長戦にもつれ込みました。しかし、延長8回に、相手に5点も取られて最後は、粘って1点を返しましたが、残念ながら3-7でゲームセットとなりました。

メンバーにとっては悔しい敗戦となりましたが、秋の市内大会に向けて、巻き返しを誓っていました。



チームみんなで記念撮影

サイクルスポーツ同好会

シマノ鈴鹿ロードレースに出場

8月19日(土)、20日(日)の2日間、サイクルスポーツ同好会は三重県鈴鹿サーキットで開催された、「シマノ鈴鹿ロードレース」に出場しました。

この大会は延べ1万人以上が参加する国内最大級のロードレースで、本校も毎年出場しています。

今年の出場選手は自動車研究開発科2年生の瀧内君と古田君で、2人とも昨年も参戦したメンバーであり、期待を背負っての参加となりました。

1日目は、「2時間エンデュロ」で、鈴鹿のフルコースを2時間走る耐久レースです。気温が35℃を超える大変厳しいコンディションのなか、精一杯の力を出し切り、自己ベストタイムで無事ゴールしました。2日目は、フルコース2周の「スプリントレース」で、多数の転倒者が出る激しいレースであり、残念ながら転倒に巻き込まれ、不本意な結果となりました。しかし、レース終了後は他の参加選手と熱く語り合いながら、来年でのリベンジを誓っていました。



出場選手の瀧内君と古田君



スタートラインに並ぶ選手たち

エコラン同好会

Honda エコマイレッジチャレンジ 全国大会に出場

9月30日(土)と10月1日(日)の2日間、ツインリンクもてぎで開催された「Honda エコマイレッジチャレンジ 2017 全国大会」に出場しました。

前回の鈴鹿大会では1位と4位を獲得しましたが、更なる記録を目指し今回マシンを大改良。出発日ギリギリまで熱心に作業する学生たちの姿に期待も高まります。

全国大会では、アップダウンの少ないコース設定になっているツインリンクもてぎのオーバルコースを7周します。今回554.808km/Lを記録し、昨年の480.030km/Lを見事に上回りました。大改良作戦成功です。

結果、大学・短大・高専・専門学校クラス参加台数96台中19位を獲得。来年はさらに上位入賞を目指します。



集合写真

新任の挨拶



教務部 宮村 智也

8月1日付で株式会社 本田技術研究所4輪R&Dセンターより赴任致しました。研究所では20年来HEV/FCV/EV向け電動パワートレインの開発に携わっております。

電動関連を軸に学生諸君と共に学ぶの精神で、共に成長できるよう努力する所存です。よろしくお願い致します。



舎監 関口 勝

9月25日付けで、くみの木寮の舎監として働かせて頂く事になりました。10月から、くみの木寮のルールも少し変わりますが、新しい気持ちで取り組んでいます。まだまだ手探り状態ではありますが、先生方のお力を借りながら1日でも早く仕事に慣れ寮生達に信頼されるよう、明るく、活気のあるくみの木寮に日々努力して参ります。よろしくお願い致します。



教務部 河西 昇

高校卒業後、ホンダエスエフに入社したのを皮切りにテクニカル、ホンダサービスと移動して、平成3年よりホンダ学園に参りました。それから早や26年が経ち、65歳の今日まで学園で働くことが出来たのは、ひとえに皆様の支えがあればこそと思います。学園が良い道に歩むことを願っています。本当にお世話になりました。



舎監 徳万 慶信

10月から鈴鹿へ移動となりました。15年間寮生と身近に接する仕事をさせてもらい大変な時期もありましたが今思えば楽しく幸せな日々でした。これから留学生も寮生も増えもっともっと活気あるくみの木寮に願っております。長い間ありがとうございました。